

第89期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より日本コンクリート工業グループをご支援いただき誠にありがとうございます。

第89期中間決算におきましては当期損失を計上するに至り、減配させていただくことといたしました。株主のみなさまには、大変なご迷惑とご心配をおかけしてしまい深くお詫び申し上げますとともに、この結果を真摯に受け止めその経営責任を明確にするために、役員の報酬を2019年11月より2020年3月まで減額いたします。役職員一同、業績の早期回復に向けて全力を尽くす所存でございます。

当事業年度（2019年度）上半期のわが国経済は、米中貿易摩擦激化等に伴う輸出の下振れに起因した製造業の弱さを背景に停滞感が強くなっております。また、当社を取り巻く事業環境におきましても、同期間のコンクリートパイル全国需要が前年度比マイナスとなる状況が続いております。

このようななかにあつて当社の当第2四半期の業績につきましては、基礎事業におきまして、設計提案力の強化、工場・工事における更なるコスト削減に取り組んでまいりましたものの、関東地区コンクリートパイル需要の大幅な落ち込みによる工場稼働の低下および杭打工事利益率の低下により、前年同期比で売上は

微減にとどまったものの、大幅な減益となりました。コンクリート二次製品事業では、ポール製品事業におきまして携帯基地局向けポールの出荷が堅調に推移したものの、顧客ニーズの急激な変化等の影響を受け配電線路用・通信線路用ポールの出荷が落ち込みました。土木製品事業につきましても、RCセグメントの大型案件の生産終了により、コンクリート二次製品事業合計では前年同期比で減収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は231億41百万円（前年同四半期比5.2%減）、営業損失は3億30百万円（前年同四半期は11億34百万円の営業利益）、経常損失は61百万円（前年同四半期は13億4百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億98百万円（前年同四半期は8億48百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社はこのような厳しい状況のなか、業績の立て直しを目指し次のとおり進めてまいります。

第一に、全社的に聖域を設けず、コスト削減に取り組んでまいります。事業別の取り組みにおいては、基礎事業につきましては、工事において適切な利益を確保するとともに工場稼働のバランスを考慮した受注活動を行います。ポール製品事業につきましては、ニ-

表紙の写真



左：新分割型ポール 右上：節杭
右下：シールド工法向けセグメント
経済性・施工性・環境性を考慮しながら製品開発を進めております。

目次

株主のみなさまへ	P 1	トピックス	P 7
第2四半期連結決算ハイライト	P 3	グループ	P 8
セグメント別の概況	P 4	会社情報／株式情報	P 9
連結財務諸表	P 5		

ズの変化に対応するため、新製品の投入と生産体制を変更するとともに、生産性の大幅な向上を目的に設備・生産ラインの改造を行います。土木製品事業につきましては、防災・減災・国土強靱化に対応する製品・工法の提案と、大型RCセグメント案件の早期受注に努めます。また、海外事業につきましては、新たな事業の早期立ち上げに努めます。

以上の状況を踏まえ、株主のみなさまには誠に恐縮ながら、当中間配当につきましては、1株につき2円(前年同期比1.5円減)とさせていただきます。なお、期末配当につきましては、1株につき2.5円(前年同期比1円減)、あわせて年間4.5円(前年同期比2.5円減)を予定しております。

諸施策の早期実施により業績のV字回復を果たし、株主のみなさまのご期待に応えますとともに、社会の持続的発展に貢献していきたいと考えておりますので、引き続き当社グループの事業活動をご理解いただくとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月



代表取締役会長
網谷 勝彦



代表取締役社長
土田 伸浩

第2四半期連結決算ハイライト

■ 当第2四半期の概況

売上高

関東地区コンクリートパイプ需要の大幅な落ち込みやコンクリート二次製品事業における顧客ニーズの急激な変化等の影響を受けたことにより前年同期比5.2%の減収となりました。

営業損失

基礎事業における工場稼働・杭打工事利益率の低下やポール事業における出荷量の減少などがあり、営業損失は3億30百万円となりました。

経常損失

持分法による投資利益等が増加したものの、経常損失は61百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失

投資有価証券の見直しを進め49百万円特別利益を計上したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億98百万円となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額 (%)
売上高	23,141	24,404	△ 1,262 (△ 5.2%)
営業利益又は営業損失 (△)	△ 330	1,134	△ 1,465 (—%)
経常利益又は経常損失 (△)	△ 61	1,304	△ 1,366 (—%)
親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失 (△)	△ 198	848	△ 1,047 (—%)

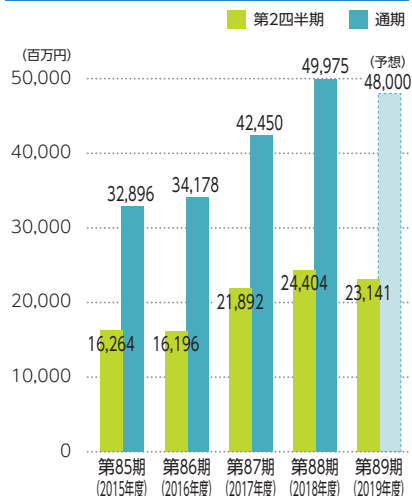
■ 通期の見通し

通期の連結業績の見通しにつきましては、次のとおりです。

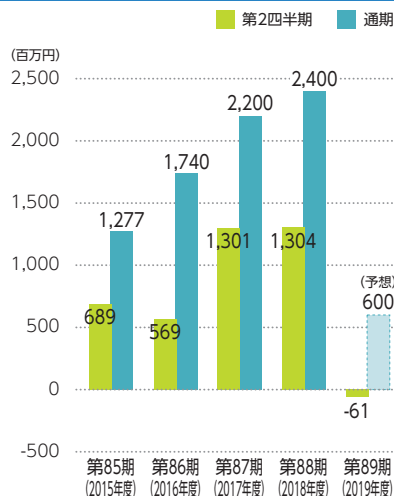
(単位：百万円)

売上高	48,000	(前期比 4.0%減)
営業利益	250	(前期比88.3%減)
経常利益	600	(前期比75.0%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	400	(前期比72.4%減)

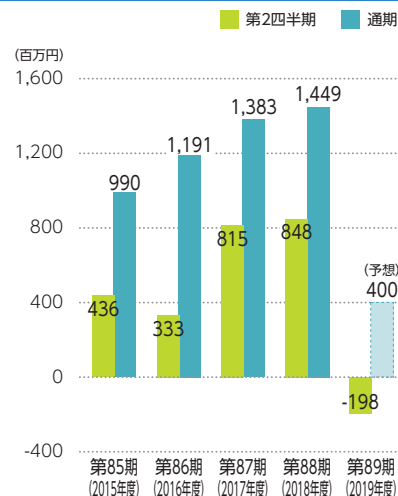
■ 売上高



■ 経常利益又は経常損失



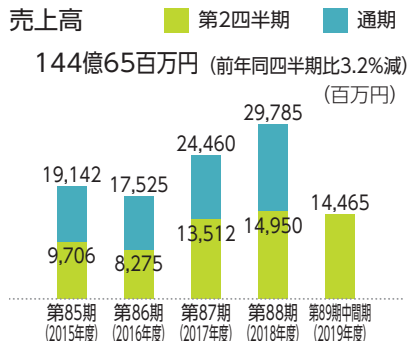
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失



※第86期より不動産・太陽光発電事業による収益を売上計上しており、比較のため太陽光発電を開始しました第85期より数値の表示を変更しております。

セグメント別の概況

基礎事業

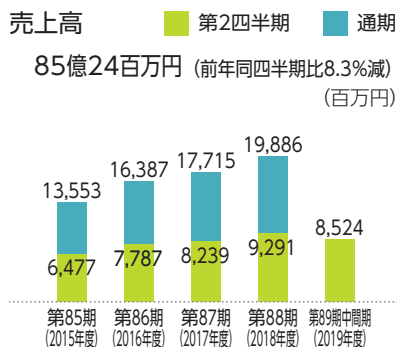


コンクリートパイロ業界は、関東地区の需要が大幅に落ち込み全国需要も前年度を下回るなか、当社では売上を西日本で伸ばしたものの、関東地区では大きく減少した結果、売上高は144億65百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。セグメント損失は、工場稼働の低下や杭打工事利益率の低下により、83百万円（前年同四半期は9億78百万円のセグメント利益）となりました。



RSCP杭の打設後におけるカットオフ作業前後の様子です。詳しくはP.7のトピックスをご覧ください。

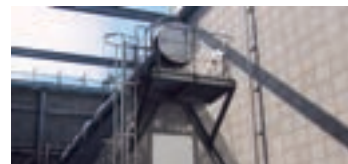
コンクリート二次製品事業



コンクリート二次製品事業のうち、ポール製品事業につきましては、携帯基地局向けポールの出荷が堅調に推移したものの、配電線路用・通信線路用ポールの出荷が落ち込み、売上高は40億63百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。土木製品事業につきましては、RCセグメントの大型案件の生産終了により、売上高は44億60百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。この結果、コンクリート二次製品事業の売上高は85億24百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント利益は5億63百万円（前年同四半期比37.0%減）となりました。



ミャンマー国におけるポール曲げ試験です。関係省庁を招待した際の写真であり、当社現地工場の製品は非常に高い評価を受けました。同工場ではミャンマー国の同業他社では製造できない長尺かつ高強度ポールを製造しており、電力・通信エリア拡大による国の発展に貢献しております。なお、ポールの長さは最大24mまで対応が可能です。



清掃工場の復水器エリアにて使用されたポアセルです。高い吸音性能や耐久力、メンテナンス性があるポアセルは、職場や生活の快適な環境づくりに貢献しております。

不動産・太陽光発電事業

不動産・太陽光発電事業においては、売上高は1億51百万円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益は82百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

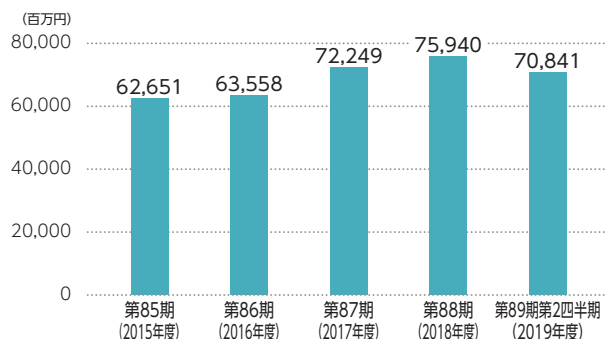
連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2019年9月30日現在	前期 2019年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	27,120	31,843
現金及び預金	5,105	7,031
受取手形及び売掛金	8,805	10,669
電子記録債権	3,531	4,010
商品及び製品	5,110	4,683
仕掛品	2,030	2,921
原材料及び貯蔵品	1,082	1,138
その他	1,454	1,388
固定資産	43,720	44,097
有形固定資産	26,186	26,057
土地	16,423	16,423
その他(純額)	9,763	9,634
無形固定資産	332	361
投資その他の資産	17,201	17,678
投資有価証券	13,815	14,183
その他	3,549	3,653
貸倒引当金	△ 164	△ 158
資産合計	70,841	75,940

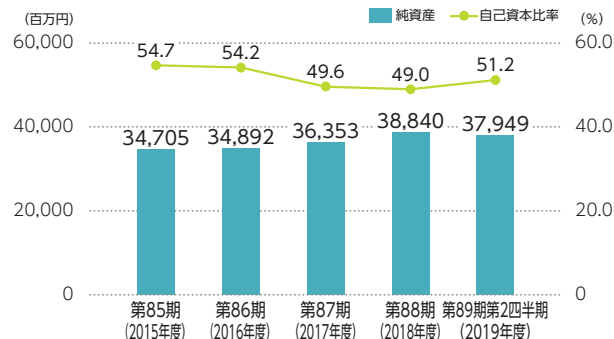
■ 総資産



(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2019年9月30日現在	前期 2019年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	20,324	24,471
支払手形及び買掛金	5,027	5,672
電子記録債務	8,044	10,488
短期借入金(含む1年内長期)	3,901	4,076
その他	3,351	4,233
固定負債	12,566	12,629
長期借入金	5,493	5,332
退職給付に係る負債	639	639
その他	6,433	6,657
負債合計	32,891	37,100
■ 純資産の部		
株主資本	25,515	26,042
資本金	5,111	5,111
資本剰余金	3,816	3,768
利益剰余金	17,118	17,515
自己株式	△ 530	△ 352
その他の包括利益累計額	10,771	11,145
その他有価証券評価差額金	4,991	5,313
土地再評価差額金	5,312	5,312
為替換算調整勘定	△ 90	△ 74
退職給付に係る調整累計額	558	594
非支配株主持分	1,662	1,651
純資産合計	37,949	38,840
負債純資産合計	70,841	75,940

■ 純資産／自己資本比率



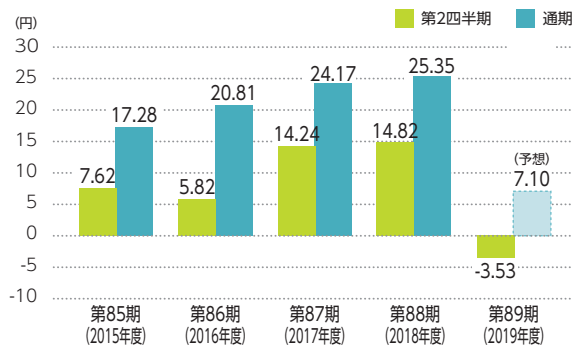
※第88期の期首より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用しており、第87期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期		前第2四半期	
	2019年4月 1 日から 2019年9月30日まで	2018年4月 1 日から 2018年9月30日まで	2019年4月 1 日から 2018年9月30日まで	2018年4月 1 日から 2018年9月30日まで
売上高	23,141	24,404		
売上原価	20,464	20,524		
売上総利益	2,677	3,879		
販売費及び一般管理費	3,008	2,744		
営業利益又は営業損失(△)	△ 330	1,134		
営業外収益	348	233		
受取利息及び配当金	174	160		
持分法による投資利益	106	32		
その他	67	40		
営業外費用	79	63		
支払利息	23	28		
その他	55	35		
経常利益又は経常損失(△)	△ 61	1,304		
特別利益	50	284		
特別損失	167	357		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 178	1,231		
法人税、住民税及び事業税	89	366		
法人税等調整額	△ 159	△ 11		
法人税等合計	△ 70	355		
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 108	876		
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	28		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 198	848		

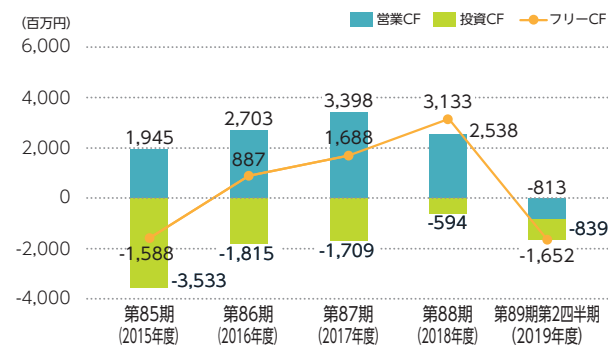
1株当たり四半期(当期)純利益



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期		前第2四半期	
	2019年4月 1 日から 2019年9月30日まで	2018年4月 1 日から 2018年9月30日まで	2019年4月 1 日から 2018年9月30日まで	2018年4月 1 日から 2018年9月30日まで
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 178	1,231		
減価償却費	770	760		
持分法による投資損益(△は益)	△ 106	△ 32		
売上債権の増減額(△は増加)	2,339	△ 1,479		
たな卸資産の増減額(△は増加)	513	127		
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 3,088	1,335		
その他	△ 1,063	△ 1,056		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 813	887		
有形固定資産の取得による支出	△ 872	△ 827		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,323		
その他	32	△ 54		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 839	440		
借入金・社債の増減額(△は減少)	△ 27	898		
配当金の支払額	△ 198	△ 201		
その他	△ 40	△ 25		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 267	671		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 4		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,926	1,995		
現金及び現金同等物の期首残高	7,031	5,412		
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	49		
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,105	7,457		

フリーキャッシュ・フロー



RSCP杭を用いたスマートカットオフ工法 ～ 経済性・施工性・環境性が進化した新技術 ～

基礎工事は近年、環境面への配慮や低コスト、施工性の高さをより求められております。

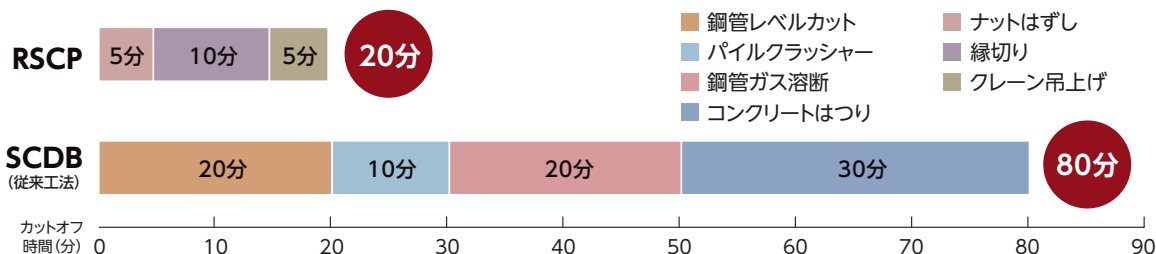
当社のスマートカットオフ工法は、杭頭のはつり工程を省き、クレーンで杭頭を吊り上げることによって、従来のカットオフ作業を簡素化できます。これにより、4分の1の時間で施工が可能となり、はつり作業によって飛散するコンクリート片などの廃棄物の処理作業がなくなり、工期も大幅に短縮することが可能です。

またコスト面におきましても、業界全体の建設コストが上昇している現在、施工を含めたトータルコストを削減できる実績もあり、公共事業などの多くの現場で活用されております。

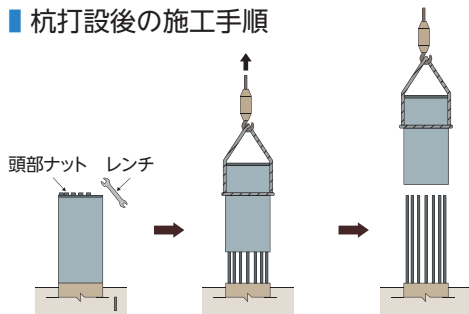
スマートカットオフ工法は、近年3年間に於いて約4万トン、約30億円の売上実績があり、今後も基礎工事のあらゆる場面において使用されることが期待されます。

■ 作業時間比較 カットオフ工程の作業時間が変わります

グラフ: SCφ1000-12m(t=12)
1本あたりのカットオフ時間



■ 杭打設後の施工手順



■ 主な物件

物件名	直径	本数	工期
圏央道 三坂高架橋下部工事	φ1200	137セット	2014年 3月
行田浄水場 浄水池築造工事	φ1000	198セット	2016年10月
三郷浄水場 廃水処理場等築造工事	φ600	212セット	2017年 2月
殿町羽田空港線 道路築造工事	φ1000	57セット	2018年 4月

グループ



日本コンクリート工業グループ

生産拠点

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| ① NC東日本コンクリート工業株式会社 | 川島工場 |
| ② NC中日本コンクリート工業株式会社 | 鈴鹿工場 |
| ③ NC関東パイル製造株式会社 | 古河工場 |
| ④ NC西日本パイル製造株式会社 | 高砂工場 |
| ⑤ // | 滋賀工場 |
| ⑥ NC四国コンクリート工業株式会社 | 小松工場 |
| ⑦ NC九州株式会社 | 九州工場 |
| ⑧ NC貝原パイル製造株式会社 | 和気工場 |
| ⑨ // | 笠岡工場 |
| ⑩ NC中部パイル製造株式会社 | 四日市工場 |
| ⑪ NCセグメント株式会社 | 板倉工場 |
| ⑫ // | 女方工場 |
| ⑬ NC日混工業株式会社 | 結城工場 |
| ⑭ // | 鈴鹿工場 |
| ⑮ // | 古河工場 |
| ⑯ NCプレコン株式会社 | 岡山工場 |
| ⑰ 北海道コンクリート工業株式会社 | 登別工場 |
| ⑱ NIPPON CONCRETE (Myanmar) Co., Ltd. | モーラマイン工場 |

営業拠点

- | | |
|-------------------|-------|
| ⑲ 日本コンクリート工業株式会社 | 本社 |
| ⑳ // | 大阪支店 |
| ㉑ // | 名古屋支店 |
| ㉒ // | 九州支店 |
| ㉓ // | 四国支店 |
| ㉔ NC貝原コンクリート株式会社 | 本社 |
| ㉕ NC工基株式会社 | 本社 |
| ㉖ NCプレコン株式会社 | 本社 |
| ㉗ フリー工業株式会社 | 本社 |
| ㉘ 北海道コンクリート工業株式会社 | 本社 |

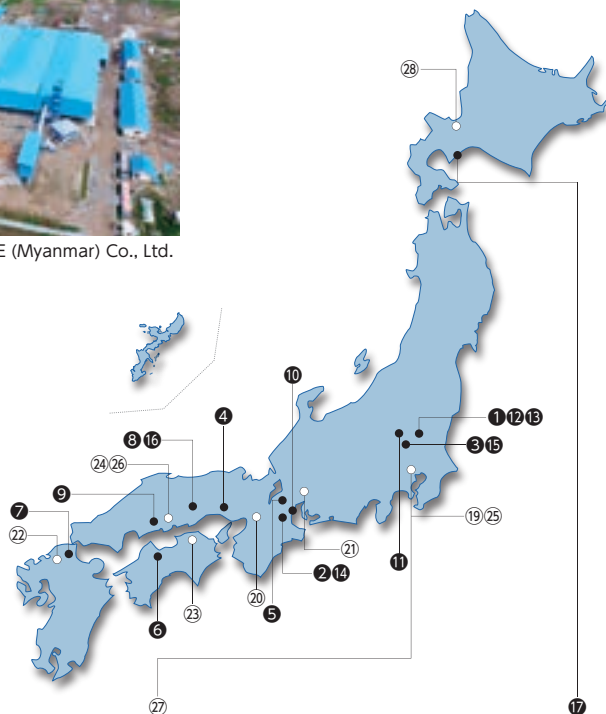
その他

- | | |
|------------------|----------|
| NCロジスティックス株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCマネジメントサービス株式会社 | (東京都港区) |
| NCユニオン興産株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCリビングサービス株式会社 | (東京都港区) |
| 日本エコテクノロジーズ株式会社 | (東京都港区) |

※日本国内の主な生産・営業拠点のみ地図上に記しております。
 ※上記のほか、当社のポール・パイル等の技術供与先13社と共同体制（NCグループ）を構築しております。



NIPPON CONCRETE (Myanmar) Co., Ltd.
モーラマイン工場



フリー工業株式会社（フリーフレーム工法）



北海道コンクリート工業株式会社 登別工場

会社情報／株式情報 (2019年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	日本コンクリート工業株式会社 (NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.)
設立	1948年(昭和23年)8月5日
資本金	5,111,583千円
従業員数	1,255名(単独392名)

■ 主な営業所

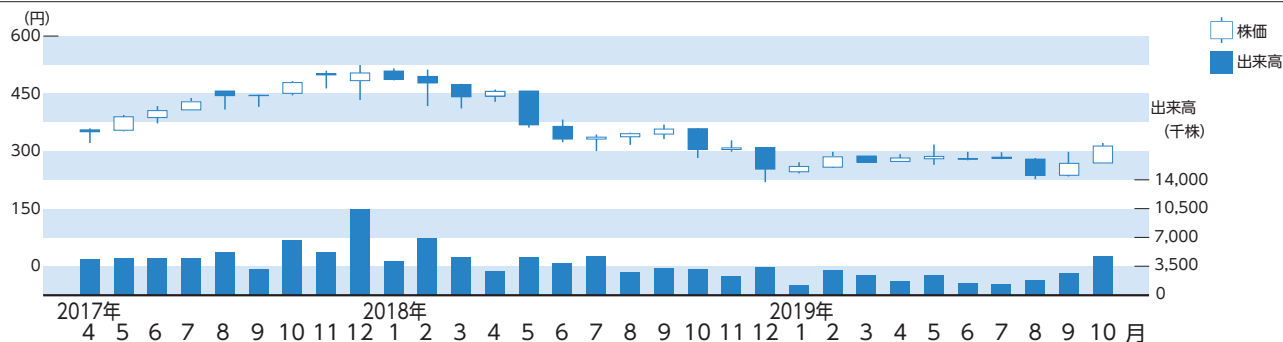
本社	東京都港区芝浦四丁目6番14号 (NC芝浦ビル)
大阪支店	大阪市中央区
名古屋支店	名古屋市中村区
九州支店	福岡市博多区
四国支店	香川県高松市

■ 役員

代表取締役会長	網谷 勝彦	常任監査役	井上 敏克	執行役員	草山 文太
代表取締役社長*	土田 伸治	監査役(社外)	安藤 まこと	執行役員	山本 博
取締役専務執行役員*	内藤 義博	監査役(社外)	西村 俊英	執行役員	廣沢 明
取締役常務執行役員*	今井 昭一			執行役員	吉成 壽男
取締役(社外)	八木 功	常務執行役員	今井 康友	執行役員	大野 豊
取締役(社外)	間塚 道義	執行役員	田中 勝也	執行役員	斉藤 彰
取締役(社外)	石寄 信憲	執行役員	塚本 博	執行役員	伊藤 浩
		執行役員	増田 知行	執行役員	梶田 宣彦

*取締役を兼務する執行役員

■ 株価／出来高の推移



ホームページのご案内

当社のホームページでは、製品情報から最新のIR情報まで各種情報を掲載しております。是非ご利用ください。

日本コンクリート工業



<https://www.ncic.co.jp/>

■ 株式の状況

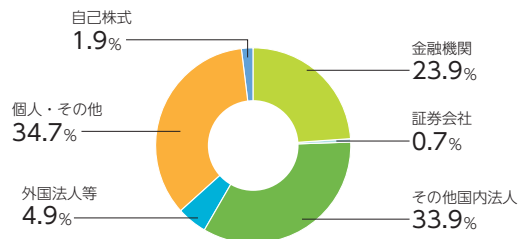
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数	57,777,432株
株主数	9,137名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製鉄株式会社	6,940	12.24
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,634	6.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,747	4.84
日コン取引先持株会	2,643	4.66
日本電設工業株式会社	2,008	3.54
太平洋セメント株式会社	1,500	2.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,167	2.05
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,144	2.01
株式会社みずほ銀行	1,000	1.76
株式会社三菱UFJ銀行	930	1.64

- (注) 1. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式1,118,937株を控除して計算、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 株式付与ESOP信託(70,170株)および役員報酬BIP信託(64,194株)が保有する当社株式は、上記自己株式には含めておりません。
 3. 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループより2018年10月15日付で提出された大量保有報告書により、株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ国際投信株式会社および三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の4社合計で2018年10月8日現在、当社株式2,923千株(提出時点における持株比率5.06%(自己株式を除く))を保有している旨が記載されておりますが、当社としては当第2四半期末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

株式所有者別分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先	〒168-0063
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 公告掲載URL (https://www.ncic.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続きについては、上記三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤル(受付時間 平日9:00~17:00)で受け付けております。
- 未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



日本コンクリート工業株式会社

〒108-8560 東京都港区芝浦四丁目6番14号 (NC芝浦ビル)
TEL (03)3452-1021 <https://www.ncic.co.jp/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサルデ
ザインフォントを採用
しています。

